

# ブロック新聞

公益社団法人 日本青年会議所 関東地区

## 千葉ブロック協議会

### 文化と文明が描く 自立自活した千葉の再興



@jayceechiba

f CHIBA Bloc

検索

千葉ブロック協議会  
会長 岩瀬 朋彦



いつもブロック新聞をお読み頂き、ありがとうございます。また、平素より千葉ブロック協議会に対しましてご理解ご協力を賜り、深く感謝しております。

まずは先月6月28日(日)に旭市にて開催された「第48回千葉ブロック大会・旭大会」が多くの皆様に足を運んで頂き、盛大に開催されました事を会を代表して厚く御礼を申し上げます。積極的に行動できる市民意識へ繋げると同時にJC運動を理解して頂くという事業目的について非常に実感できた素晴らしい大会でした。また、土川理事長をはじめといたします旭青年会議所の皆様におかれましては長期に亘り開催地LOMとして大変ご尽力されましたことに重ねて感謝申し上げます。

さて、梅雨も明け本格的な暑さが到来しております。体調管理が非常に重要な時期であり、JC活動も後半戦に入っている中で最後まで健康で運動に邁進して頂きたいと思っておりますので、皆様どうぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

## インタビュー

### 川嶋 あいさん

(かわしま あい)

昭和1461年

福岡市に生まれる

平成17年

キーボード弾き語り

スタイルで路上ライブを本格的に開始。シングル「絶望と希望」がオリコンチャート9位を獲得。同年発売の初のフルアルバム「12個の歌」ではオリコンチャート5位を獲得。



三須 川嶋さんは15歳の時に、自主制作CDの手作り売り5000枚、路上ライブ1000回、渋谷公会堂ワンマンライブの3つの目標を掲げ、その全てを3年で達成されたようですが、夢を持つという目標を達成する為にはどのような気持ちを持つことが大切だと思えますか。

川嶋 小さい頃から歌手になりたいという夢を持っていて、他に浮気もせずずっと一本の道をイメージしながら、思い描きながら歩んできた道のりでした。その中で決まった夢に向かって、どうやって行動をして、アクションを起こすかという具体的な計画を立ててました。高校になったら東京に上京するとか、路上ライブを始め



ようとか、1000回やってダメだったら諦めようとか。夢に向かって、夢をただ眺めているだけではなくて、どう考えて行動できるかということが達成に繋がってくるのだと思います。

三須 東日本大震災の後、被災地での無料ライブを、開催してこられたようですが、思い出深かった事はありますか。また青年会議所として被災地へ救済物資を持っていったり、炊き出しを行ったり、被災地の子ども達を千葉に招いたり、サマーキャンプ等を行ったりしましたが、今私達が被災地にしてあげべき事はどんな事だと思えますか。

川嶋 阪神大震災が起きて10年を迎えた時に、初めてライブを開催させてもらって、震災に遭った子供達が一番前の席でライブを聞いてくれたんです。小さいながらも親や兄弟を失ったりしている子達だったので、その話も本音が赤裸々に話してくれて、それがやっぱり一番印象的でした。私も両親はいないので、やっぱり自分の人生を力強く生きる為にもう一度前に進むようにして、思いや姿が今でもはつきり目に焼きついていて、その経

験が東日本大震災の後の思いや行動に繋がっていると思います。青年会議所の皆さんに対しては、とにかく多くの方々に現地に来て欲しいと思っております。震災に遭った子供達が沢山の人が全国各地から遊びに来て、名産品を食べたり、観光名所に触れたりして欲しいなって事も話してました。自分達が生まれ育った町がどう復興していくか、その為に子供達も毎日いろんな事を考えてきた町の為に出来る事をやっているので、きたいと力強く話していたので、運んで頂きたいと思っております。心に傷を負っている多くの方々に対してはまだサポートが必要ですよ、これから私も元気がでるようなイベントを開催したいと思っております。一瞬でもいいので忘れて、皆でその時間を共有しよう、また明日から頑張ろうと思えるような何かを打ち出していき



左から、女良副委員長、三須委員長、川嶋あいさん、大久保副委員長

# 事業案内

## 『第63回関東地区』

### 『かながわ三浦大会』

地域再興の輪を三浦から関東へ  
自立自活した地域に向けて未来への懸け橋  
となるよう

〔開催理念〕

三浦は海から江戸幕府を守るための最前線であり要害の地でもありました。鎖国していた日本にとつて、相模湾、東京湾、太平洋と3つの海に囲まれた三浦半島は、黒船が来航して以来重要な防衛拠点であり、その後の怒涛のように続く開港、開国、倒幕、大政奉還、文明開化という激動な時代においても、常に新しい流れに晒されていた分水嶺でもありました。そして、近年では特定第3種漁港として首都圏の台所として発展し、三崎マグロや三浦大根、キャベツなどの食材をはじめ、自然豊かな景観、海水浴場等の多くの魅力を持ち合わせており、地域資源をさらに活用することが出来る地域です。また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催することが決まり、全世界的にも日本は注目をされ、今後、大きな経済効果が期待されているところでもあります。だからこそこの機会を活かし、中央集権の画一的なものから地域独自の在り方を鑑み、今こそ私たち青年が地域資源を最大限活用して、地域を盛り上げていかなければならないのです。私たちの使命は、自分たちの地域に責任を持ち、多くの市民とともに未来を切り拓いていくリーダーとなることであり、地域の再興のみならず、関東の再興へ向けて次世代へとつないでいく懸け橋となることです。そして、地域の未来を明るい豊かなものにするために、常に最前線で運動展開していくことが求められているのです。

『第63回関東地区大会かながわ・三浦大会』はその土地の魅力ある資源を掘り起こし、まずは地域からの発信を行い、ひいては地域力漲る関東の再興を目指します。参加されたかたは地域のリーダーとして、新たな気付きや再発見を得、その動きは地域の活性化へと繋がります。来への発展へと導かれるのです。それら気付きを得た地域を愛する一人ひとりが各地で実践し活躍し、再興の輪が生まれます。その輪は関東から、果ては全国へと広がります。そのための第一歩の礎として今大会を地域再興のモデルケースとなるよう展開してまいります。

関東地区協議会 会員交流委員会委員長 小松崎敏紀君  
(公益社団法人 かしま青年会議所)

日時 8月28日(金)～8月29日(土)  
場所 神奈川県三浦市初声町入江169

## 『硫黄島訪島事業』

東京都小笠原村硫黄島は大東亜戦争時代に本土決戦を遅らせるため、先人達が決死の覚悟で戦った島です。この歴史に国民に向き合ってもらい、次世代への責任を果たす主権者意識を確立し、わが国を思う歴史観をもつ誇り溢れる人材となつていただきます。

硫黄島は現在自衛隊関係者や硫黄島遺族の方以外は立ち入ることができない島ですが、公益社団法人日本青年会議所関東地区協議会は8年前より硫黄島訪島事業を続けております。

公益社団法人日本青年会議所 関東地区協議会 国民主権確立委員会

日時 第1回8月25日・26日

東京都市圏から約1000km離れた小笠原村硫黄島は、大東亜戦争時代に本土決戦を遅らせるため、先人達が決死の覚悟で戦った島です。この歴史に国民に向き合ってもらい、次世代への責任を果たす主権者意識を確立し、わが国を思う歴史観をもつ誇り溢れる人材となつていただきます。



# 事業報告

## 『第3回J.C塾』

7月5日(日)オリエンタルホテル東京ベイ(浦安市)にて中山大志氏を講師にお招きし、プレゼン力をテーマにご講演頂きました。以下参加塾生のコメント。「一番印象に残ったのは、意識しなければ見えないものがある。また、見えたのであれば多くの人に伝える必要がある。という言葉でした。より効果的に人に伝える為にプレゼン力を磨く必要がある」ということが良く理解できました。」

(一社) 勝浦いすみ青年会議所 土井翔君

## 『J.CカップU・11少年少女サッカー大会・千葉ブロック予選大会』

7月4日、11日と船橋市高瀬町運動公園サッカー場で県内各地より28チームの参加により盛大に開催されました。優勝チームはWings、(千葉J.C推薦) 優勝チームは8月8日(土)茨城県鹿嶋市にて開催される関東地区予選大会に出場されます。以下担当委員長のコメント。「本大会開催に際し、御参加・御協力頂きました全ての皆様に心から感謝申し上げます。そして28チームの頂点に輝いたWingsの皆さん、本当におめでとうございます。」

ブロック会員拡大・広報委員会 委員長 三須榮光君



# 『第48回千葉ブロック大会・旭大会』

6月28日(日)旭市において、約4500人の市民が来場し、盛大に開催された。シンガーソングライターがの川嶋あいさんによるコンサートが行われたり、多くの地元有名店が出演されました。以下担当委員長のコメント。一まずは、多くの各地会員会議所メンバーが旭の地へお越し頂いた事に対し、深く感謝申し上げますと共に、一般の方々も千葉県各地より沢山の人にご来場頂き、心より御礼申し上げます。委員会メンバー一同、予定者段階から約8カ月の多くの時間と努力を使い、お越し頂いた方々に来て良かったと思ってもらえるような設定になったよう工夫してきました。まだまだ足りない点が多々あったと思います。が、お陰様で参加された方から素晴らしい大会だったとお褒めのお言葉を頂きました。これは偏に出向した全てのメンバーからのお力添えや、各地会員会議所理事長・専務の皆様のお力添えあつての成功だと思っています。また私自信今までにない貴重な経験をさせて頂いた事で、またひとつ成長できました。本当にありがとうございます。

ブロック大会委員会 委員長  
長谷川聡君



# 『第65回ASPAC コタキナバル大会』

平素より公益社団法人日本青年会議所の運動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。また、6月11日から4日間に亘り開催されましたJCI ASPACコタキナバル大会に対し、各地会員会議所理事長をはじめとする1876名もの多くのメンバーの皆様にご参加いただきましたこと、誠にありがとうございます。この度、日本青年会議所といたしましては、「縁」というテーマのもと、日本の国益増進に対する当事者意識をもって本大会に参加させていただきました。そして、ご参加いただいたメンバーの皆様にご協力いただいたことに改めて感謝申し上げます。アジア太平洋地域では、各国の国益が複雑に絡み合っており、政府間外交も非常に難しい部分がございます。だからこそ、民間外交ともいえる我々青年同士の交流が、アジアの平和と安定そして繁栄への世論喚起につながるべきだと期待されています。さらに、アジアだけでなく世界的情勢は、絶えず変化しています。その変化に対応し、成長していくことが国益の増進につながります。そのために、世界で起きている変化を自らの目で見て、各国の価値観を理解することが非常に重要です。その意味で、JCIが主催する国際会議へ参加することは、非常に有益であり、JCIを通じて我々青年が世界と向き合うという事は、皆様の地域に大きな可能性を与えてくれます。是非、これからも積極的に国際会議にご参加いただき、地域再興そして日本再興につなげていただければ幸いです。



今後、第28回国際アカデミアin東京、JCIグローバルパートナーシップサミットそしてJCIムーブメント100周年を記念するJCI WORLD CONGRESS ESS金沢大会が開催されます。JCIという組織が一世に亘り、なぜ存続してきたのかを1年を通じて体感していただきたいと思います。そして、次の100年に向けて我々がどこに向かって歩み続けるのかを世界の仲間と共有し、新たな扉が開く瞬間を共に見届けましょう。結びに、JCI ASPACコタキナバル大会における、「縁」が更なる地域の発展につながることを祈念申し上げます。御礼とさせていただきます。

公益社団法人日本青年会議所 第64代会頭 柴田 剛介

# 『(公社)柏青年会議所 創立45周年記念式典』



6月21日(日)ハート柏迎賓館にて盛大に開催されました。以下武井理事長のご挨拶の抜粋。柏青年会議所は夢や希望の実現のため自己を磨き、郷土を慈しみ公共心を重んじ、全ての人々と心通い合う笑顔と関心があふれる「愛する我が柏(まち)」になるため絶えず行動することを誓う。この柏JCI宣言文を改めて心に刻み、何のために、誰のためにという思いを常に持ち運動を展開して参ります。そして、主体性とOMIYARIを持つ市民を一人でも多く創造し、笑顔と関心があふれる、愛する我が柏(まち)が、多くの人から愛される我が柏(まち)になるように市民を巻き込みLOM(丸)となり、まちのたぬに貢献できる存在であり続けるよう努力して参ります。最後にとご多幸が、皆様の益々のご健勝と共に、今後とも公益社団法人柏青年会議所に対して、これまで以上に指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

7月12日(日)ウィットシユトンホテルユウカリにて盛大に開催されました。以下佐久間理事長のご挨拶の抜粋。1976年4月、志を同じくする56名の青年が情熱と英知を結集し、明るい豊かな社会の実現にむけて、社団法人成田青年会議所のスポンサーのもと全国で604番目の青年会議所として誕生いたしました。それから40年という長きに亘り、先輩諸兄が苦闘を乗り越え、佐倉の発展の為に運動を展開されてきました。その歴史と伝統を作り上げて頂きました。先輩諸兄の功績に對しまして、心から感謝と敬意を表し、我々が次世代へと継承していく事が使命であると感じております。今後、地域の皆様をはじめ行政、関係団体の皆様、また各地会員会議所の皆様におかれましては、今まで以上にの指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。ご多幸を心よりご祈念申し上げます。

公益社団法人 柏青年会議所 第45代理理事長 武井文君

# 『(公社)佐倉青年会議所 創立40周年記念式典』



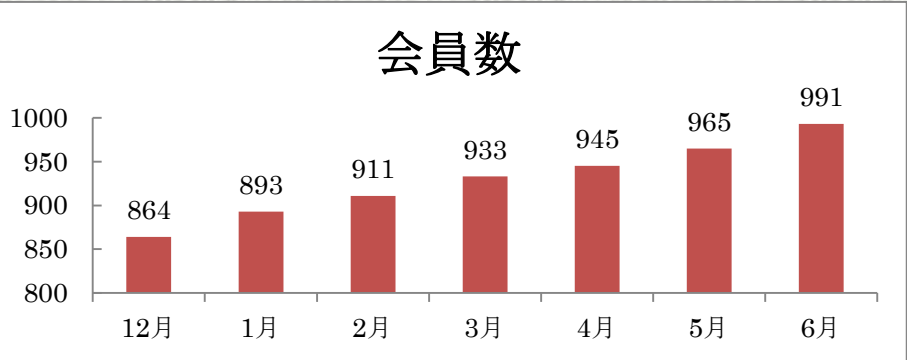
公益社団法人 佐倉青年会議所 第40代理理事長 佐久間亮君

公益社団法人 柏青年会議所 第45代理理事長 武井文君

公益社団法人 佐倉青年会議所 第40代理理事長 佐久間亮君



こちらのQRコードよりアンケートのご協力をお願いします。



### 会員拡大状況

上半期は、何といっても（公社）千葉青年会議所と（一社）市原青年会議所の活躍が目覚しかったです。下半期も各LOMとも気を緩めることなく目標に向かって突っ走ってください。「拡大だ！拡大だ！拡大だ！」

ブロック会員拡大・広報委員会  
委員長 三須榮光君

いよいよ2015年も下半期、  
がんばっていきましょう  
*No passion No JC  
Action with Passion!!*



良磨が行く

JCI JC 運動発祥 100周年記念事業委員会 委員  
アジア・太平洋地域担当 小山良磨君



#### 自己紹介

地元地域を新しい若い力で活性化したいという思いから青年会議所に入会させていただきました。他の団体との繋がりなどを深くし地域全体でもありあげ、私達が子供の頃のような中小企業が活気ある町にしたいという目標をもっています。

#### 高橋 努 君

（たかはし つとむ）  
一般社団法人 鎌ヶ谷青年会議所  
事業発信委員会 委員  
昭和52年5月10日生まれ  
住まい 千葉県 鎌ヶ谷市



JAYCEE MAN

鎌ヶ谷で創業60年以上の電気店を父、兄、母、自分で頑張っています。体を動かすことが好きでサッカーが趣味です。宜しくお願い致します。

**勤務先**  
有限会社高橋電気商会  
千葉県鎌ヶ谷市東初富4-2-1-14

#### 自己紹介

千葉県勝浦市にありまます社会保険労務士事務所「南総労務管理センター」にて勤務しております。当事務所は保険代理店でもあり、事務と保険の営業として日々動き回っております。なにかお困りごとがございましたらいつでもご相談ください♪ちゃっかり宣伝です(笑)

#### 戸田 優子君

（とだ ゆうこ）  
一般社団法人 勝浦いすみ青年会議所  
総務室 財務局長  
千葉ブロック協議会 ブロック会員拡大・広報委員会 C地区幹事



JAYCEE WOMAN

青年会議所には入会して2年とまだまだ浅いですが、たくさんの方と交流でき、日々自分が成長しているのを実感しております。もともと千葉県出身ではなく、北海道出身です。はじめは不安でいっぱいでしたが、本当に周りの人に恵まれており、プライベートも仕事も楽しくしております。なにかあっても青年会議所は卒業までいたいと思っております。よく話しかけづらく見られますが、人見知りではありません\*お会いすることがありましたらお声かけてください！よろしくお願致します！

**勤務先**  
南総労務管理センター  
千葉県勝浦市浜行川824-2